

# 蔵を活かしたまちづくり～秋田県横手市増田町の蔵を例として～

秋田大学 学生会員 伊藤 真希  
 秋田大学 正会員 木村 一裕  
 秋田大学 正会員 日野 智  
 秋田大学 正会員 鈴木 雄

## 1. はじめに

近年、地域の生活や文化的な資源の価値が見直されてきている。秋田県横手市増田町の内蔵もその一つである。これまで増田の蔵が注目されてこなかった理由としては、生活空間として日常的に使用されていること、内蔵であるため建物の外からはその魅力が分からないこと、蔵を維持するためには多額の費用を要することなどが上げられる。最近では「蔵の会」が組織され、年に一度「蔵の日」を設けて、蔵を公開するなどのイベントが行われている。本研究では、増田の蔵を例に地域資源を活かしたまちづくりの方策について考察することを目的としている。参考として、蔵の写真を写真1に、通りの写真を写真2に示す。



写真1 蔵の写真

写真2 通りの写真

## 2. 観光客に対する意識調査の実施

蔵を活かしたまちづくりを検討するため、蔵の日に訪れた観光客を対象として、蔵の魅力やまちの魅力、観光全般についてアンケート調査を行った。表1にはアンケート調査の概要を表2には回答者の属性等、表3には回答者の旅行形態等を示す。

表1 蔵の日に行ったアンケート調査の概要

対象	「蔵の日」に増田の蔵まちを訪れた観光客
調査内容	旅行内容、蔵の印象、まちの印象、評価等
配布部数	550部
回収部数	253部(回収率46.0%)

表2 属性 ( )内は人数

性別	男性:53%(113)	女性:45%(135)	無回答:2%(5)
年齢	10代: 3%(4)	20代: 1%(4)	30代: 5%(19)
	40代: 9%(25)	50代:31%(58)	60代:30%(96)
			70歳以上:21%(46)
職業	会社員・公務員:26%(73)	農林水産業:1%(5)	自営業:12%(33)
	主婦:26%(70)	学生:3%(3)	無職:26%(56)
			その他:6%(12)
居住地	増田町:8%(15)	他の横手市:24%(45)	他の秋田県:46%(132)
			秋田県外:26%(61)
交通手段	自家用車:83%(211)	観光バス:8%(20)	路線バス:1%(3)
	電車:0.4%(1)	バイク:0.4%(1)	自転車・徒歩:2%(4)
	その他:3%(7)	無回答:2%(6)	

表3 旅行形態 ( )内は人数

日程	日帰り:85%(216)	宿泊:12%(30)	無回答:3%(7)
メンバー	個人:10%(25)	家族:60%(152)	仲間など小人数:20%(50)
	ツアー等団体:6%(16)	その他:4%(9)	
泊数	1泊:73%(22)	2泊:7%(2)	3泊:7%(2)
			4泊:10%(3)
			7泊:3%(1)
増田を訪れた回数	初めて:27%(68)	2-4回:23%(58)	5回以上:48%(34)
			無回答:2%(5)
訪れた蔵のある町名	倉敷:21%(54)	喜多方:38%(96)	川越:33%(50)
	近江八幡:4%(11)	小樽:32%(80)	その他:6%(16)
訪れた蔵のある町数	なし:38%(97)	1つ:25%(62)	2つ:16%(41)
	4つ:6%(16)	5つ以上:2%(6)	3つ:10%(25)

年齢では50代、60代が多く、居住地では横手市を除く秋田県民が半数近くを占め、旅行形態では8割以上が日帰りであった。また蔵のあるまちを訪れた経験でみると、複数の蔵のある町を訪れている人は62%を占めている。訪問した蔵としては、喜多方が最も多く、小樽、川越、倉敷など蔵のある町を数多く訪れた人も少なくないことが分かる。

## 3. 蔵やまちの印象、評価

蔵の印象や町並みの印象については、増田の蔵についてある程度知識のある横手市とそれ以外に分けて分析を行った。図1には、横手市外の観光客の蔵の評価を、図2には横手市外の観光客のまちの評価を示す。

蔵の評価は観光客の居住地によらず、全体的に高い値となった。蔵の評価については、「蔵内部の豪華さ、堅牢さや内蔵の多さや連立していることが印象に残った」、「外からは分からない内蔵が家々にあることに感銘を受けた」、「実生活に溶け込んでいる、明治、大正の歴史、増田の歴史を感じる」などの意見が多かった。

キーワード：内蔵、情報、観光連携

連絡先：〒010-8502 秋田市学園町1-1, TEL(018)-889-2368, FAX(018)-889-2975

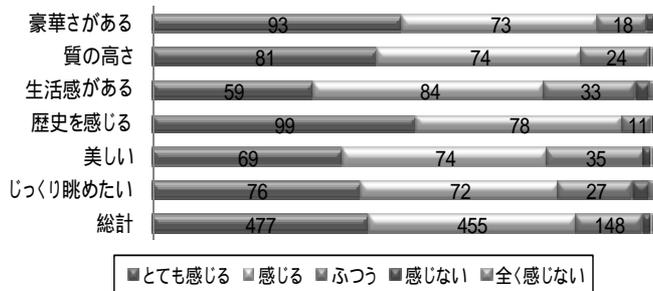


図1 横手市外の観光客の蔵の評価

まちの評価では、ほとんどの項目で「ふつう」が多く、蔵に比べ、まちの評価が低い評価となった。「通りがあまり魅力的でない」、「ごく普通の町並み」、「昔栄えたであろうと思う通りだが、昔を大切にしたい趣ではなく、過疎の寂しさを感じる」などの意見が多かった。一方で、「道路を挟む蔵の並びは壮観」、「どこことなく気品のある町並み」という意見もあった。「電柱、架空線で景観が損なわれていて、一般的な町並みとなっていたため銀行の看板や案内板などのデザインを工夫するといい」という興味深い意見もあった。

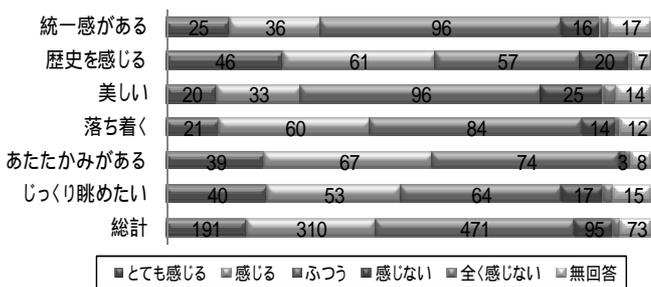


図2 横手市外の観光客のまちの評価

#### 4. 横手市の観光の満足度評価

増田の蔵を含む横手市の観光の満足度について、市外の観光客に対し、数量化理論 類を用いて分析した。その結果を図3に示す。

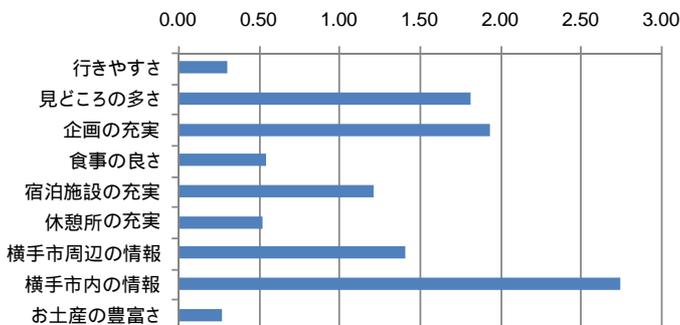


図3 横手市外の観光満足度のレンジ

市外の観光客は、「横手市内の情報」、「企画の充実」、「見どころの多さ」、「横手市周辺の情報」の順で総合的な満足度に与える影響が高いことが分かった。同様に市内の観光客でも分析したところ、「横手市周辺の情

報」、「見どころの多さ」の順で総合的な満足度に与える影響が高いことが分かった。市内、市外の観光客ともに「情報面」を充実させることで総合的な満足度を大きくすることにつながる事が分かった。

見どころとして、観光客には「訪れて魅力を感じたところ」をまた地元の人には「意外にお勧めなところ」を尋ねている。まんが美術館や道の駅、かまくら館などは双方とも取り上げられているが、「十字館歴史資料展示室」、「猩々の道標」、「平鹿農村文化伝承館」などは地元の人からはお勧めであるが、訪れた観光客は少なく、このような資源を上手く組み込んだ魅力ある観光ルートづくりと情報提供が必要と考えられる。

#### 5. 周辺観光を含めた情報提供

表4には増田を訪れた観光客が情報面について、どのような意見を持っているかについて自由記述からまとめたものを示している。

表4 情報面の具体的内容

分類	自由記述の具体的な内容	有効回答者数 164
PR 回答32	1) 当日の朝刊で知った。もっと前から知っていれば沢山のひとと来られたのに。 2) 秋田県観光マップ(秋田花まる)の10月行事として載せてほしい。 3) 高速のSAや道の駅にポスターとかを貼った方がいい。 4) 蔵の町をアピールするパンフレットや、増田地区の観光案内のついたチラシやパンフレットがほしい。	
連携 回答26	1) 近隣の観光地をセットで案内するといい。 2) 地域の連携により、観光ルートを確立するべき。 3) 次にどこを回ればいいのか県内、県外ともに案内がほしい。 4) 市内の周遊バス・タクシーの検討。 5) 市内の観光ツアーをやってみるといいかもしれない。	
整備 回答25	1) 増田の蔵まちまでの道順などを事前に確認できる方法がほしい。 2) インターチェンジや国道からの案内板が目につかなくて不安だった。 3) 年配の人を連れて行く休憩所がなく、もう少しベンチや、一息つけて、何か食べるところがあればいいと思った。 4) 郷土料理など食を組み合わせた、名物を食べさせてくれるなどの食事処を整備してほしい。 5) 交通手段、交通ルートを充実させてほしい。	

「当日の朝刊で知った」や「たまたま通りかかった」など、事前に情報を知りたかったという意見がみられた。また、「案内板が目につかなくて不安」という意見も多くみられた。

#### 6. まとめ

増田の蔵は内蔵であり、現在も生活空間として使われているため、普段は公開できないのが現状である。外から見えないものに対し、どのように満足度を与えることができるのか課題である。それを解決するためには、内蔵をもっと積極的に紹介するとともに市内外の観光施設と連携することで、増田の蔵が観光にとってより魅力ある観光資源となることが期待される。